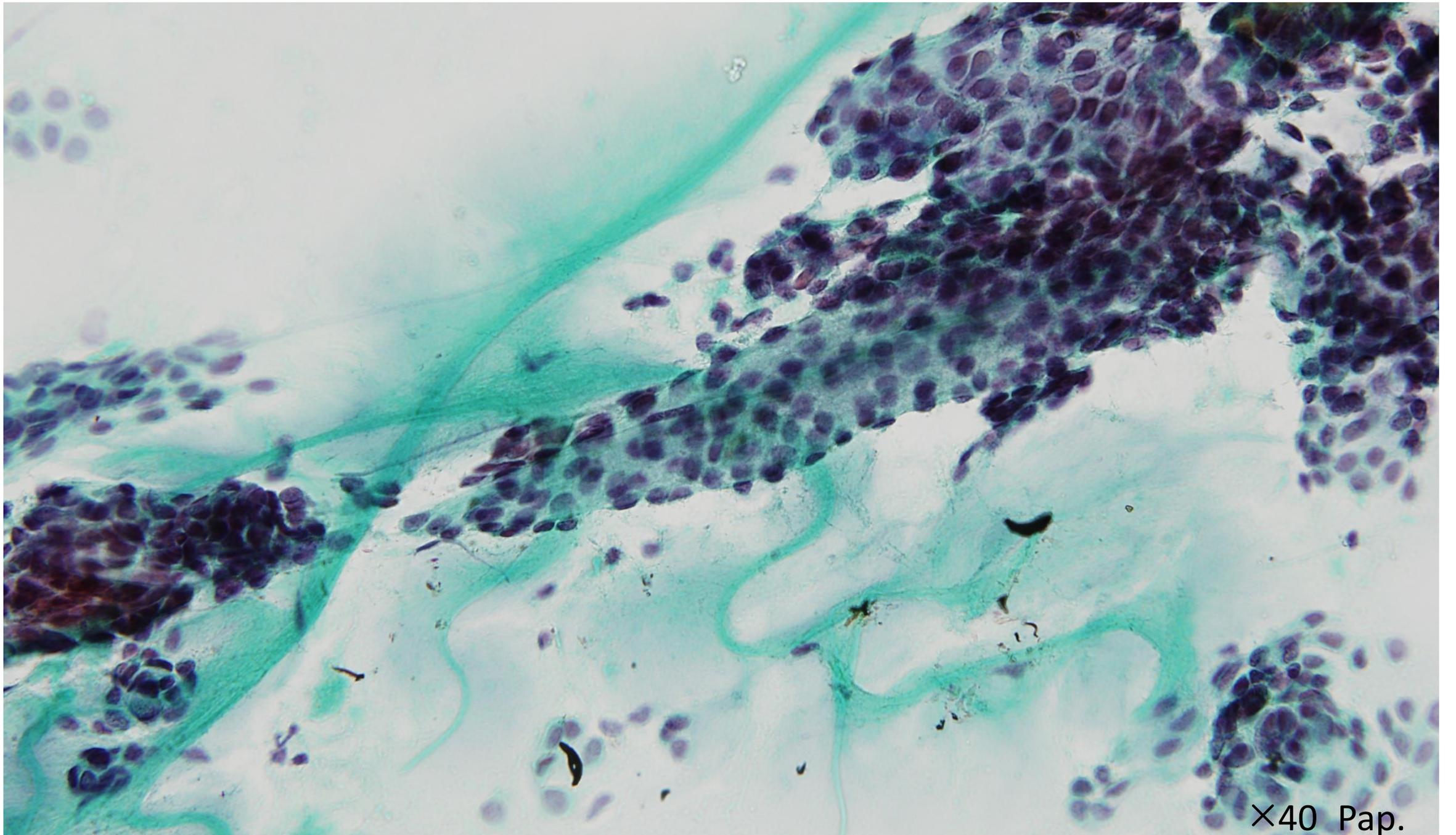


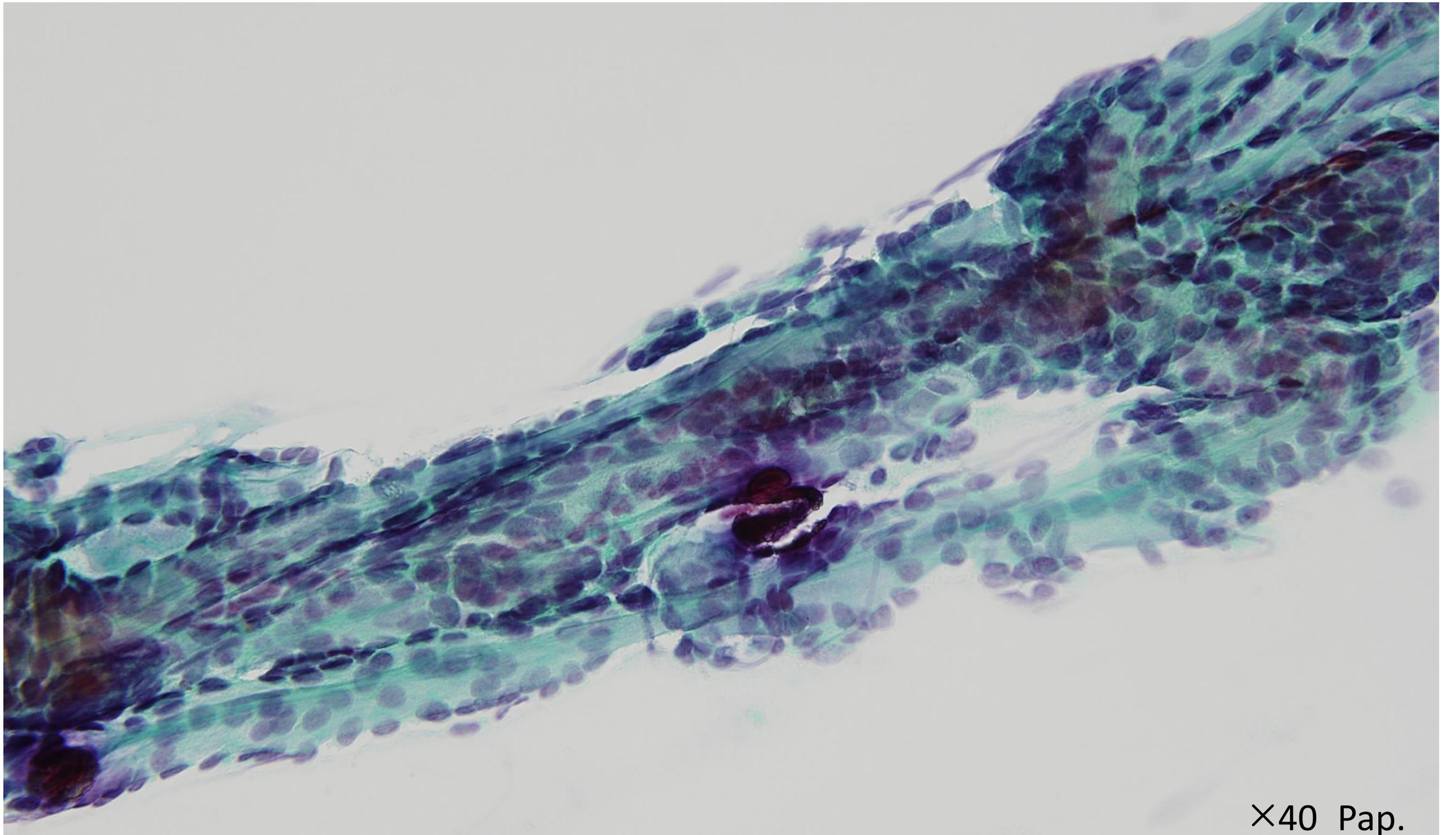
出題者：亀山由歌子（日本大学松戸歯学部病理学講座）

症例 9

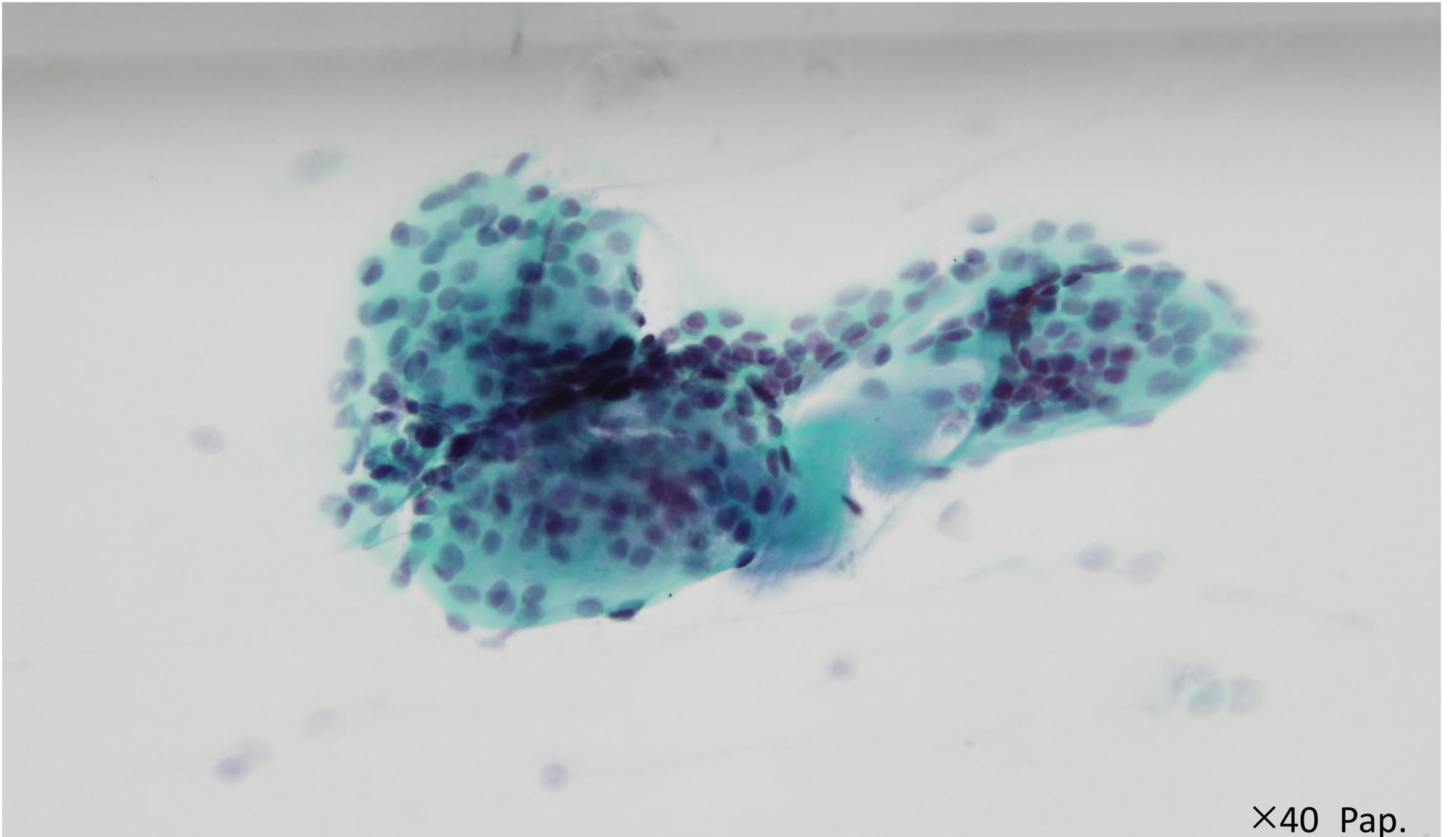
- 年齢：43歳
- 性別：女性
- 採取部位：硬口蓋
- 採取方法：穿刺吸引細胞診（従来法による直接塗抹）
- 画像所見：CTにて口蓋部骨吸収は認められなかった
- 現病歴：半年前より硬口蓋左側部に20×25mm大の表面滑沢，暗青紫色の腫瘤に気づき近医受診．腫瘍の疑いにて当科紹介来院となり穿刺吸引細胞診が施行された．



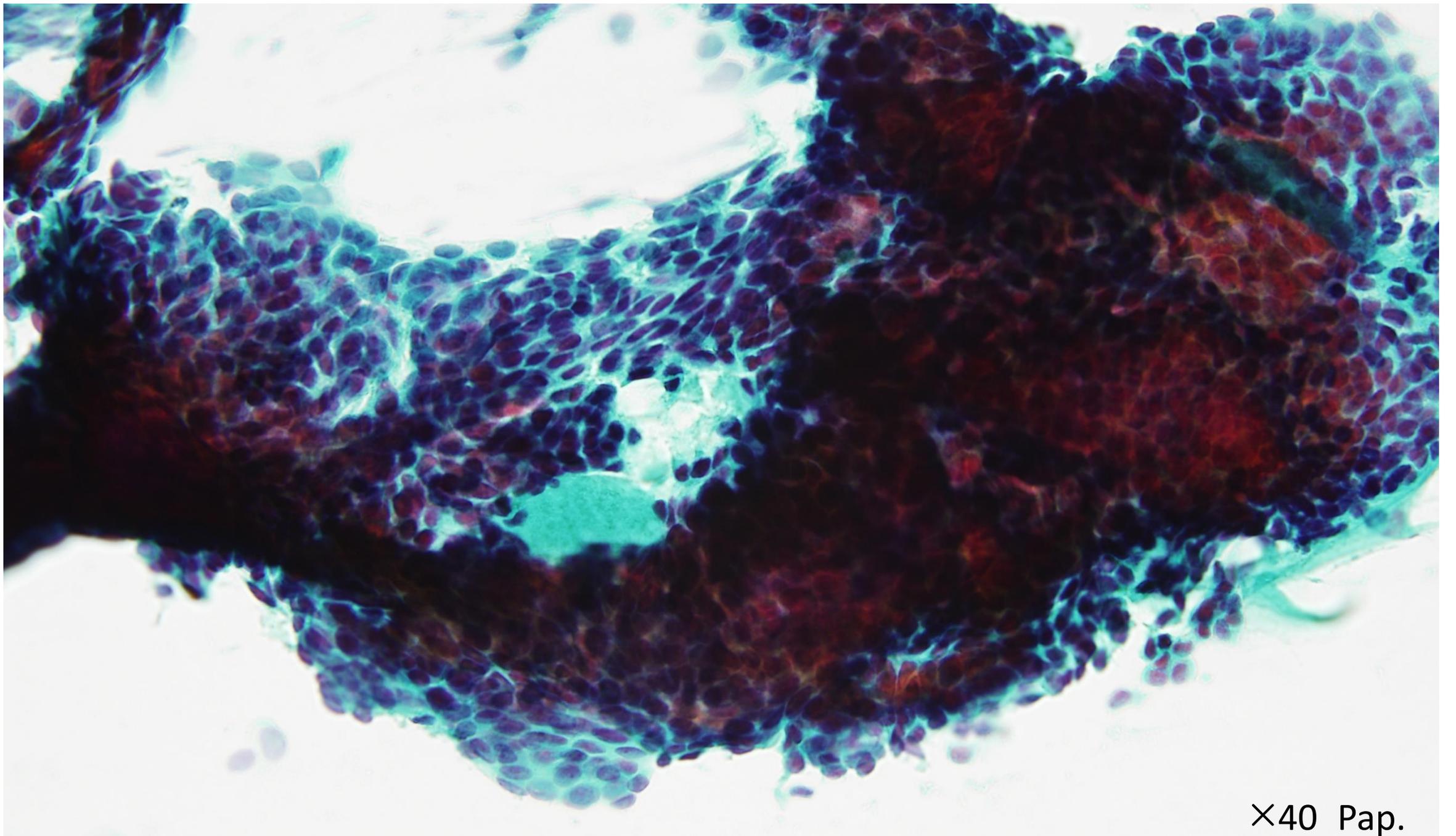
×40 Pap.



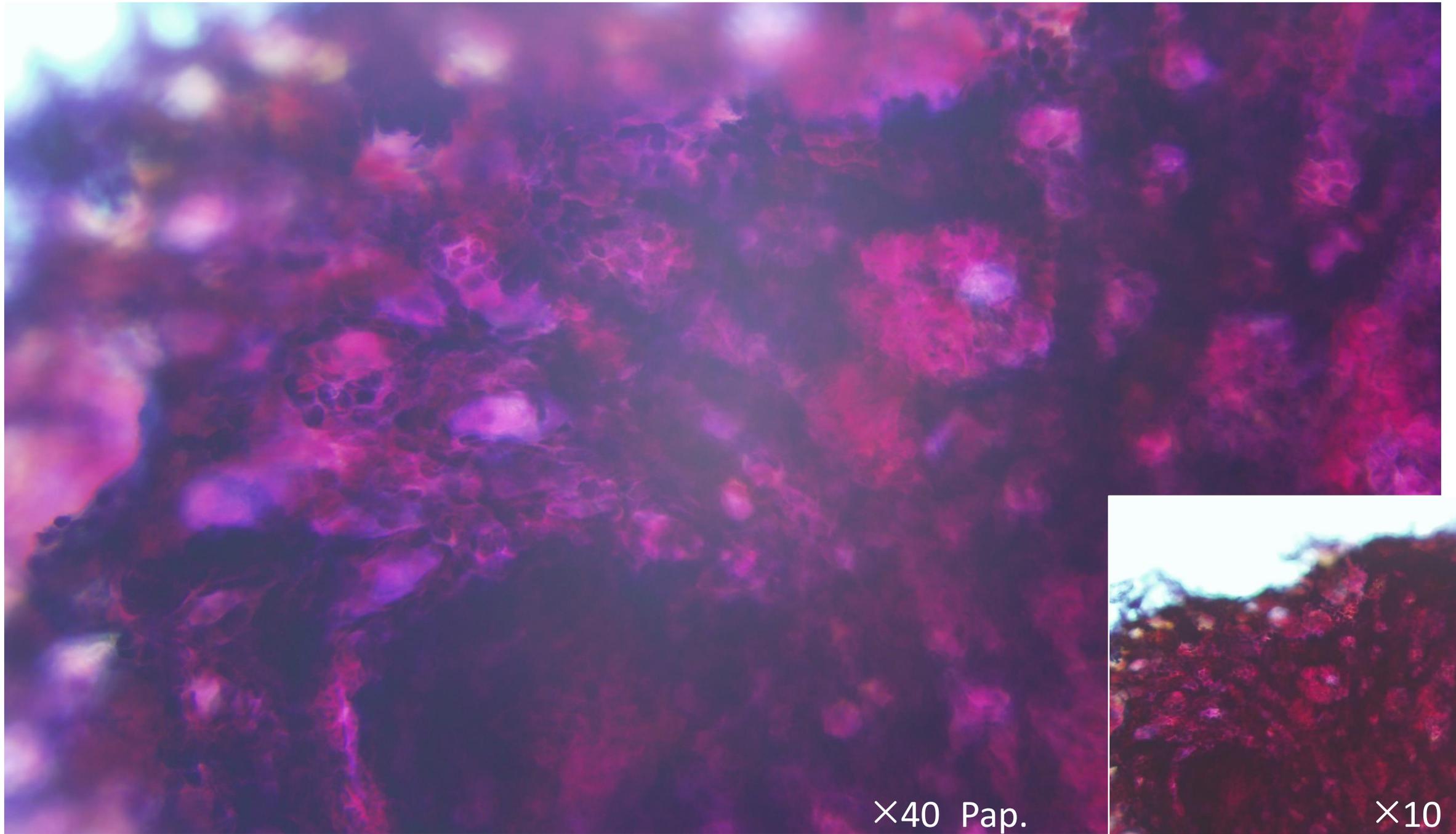
×40 Pap.



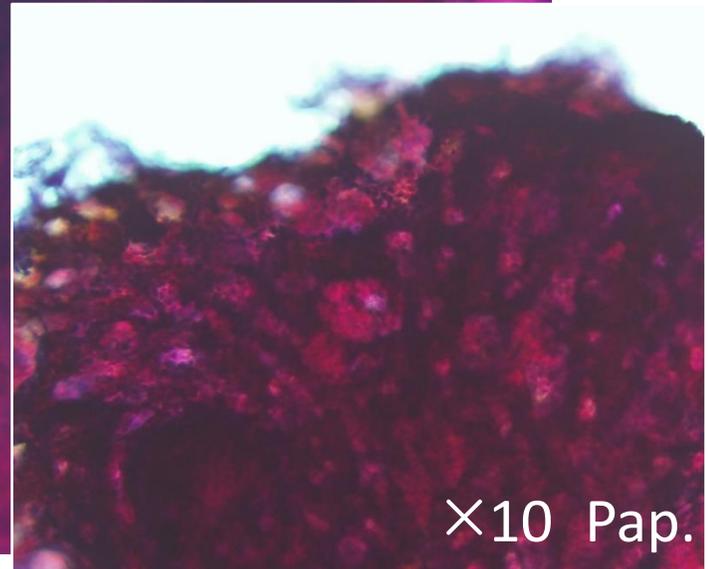
×40 Pap.



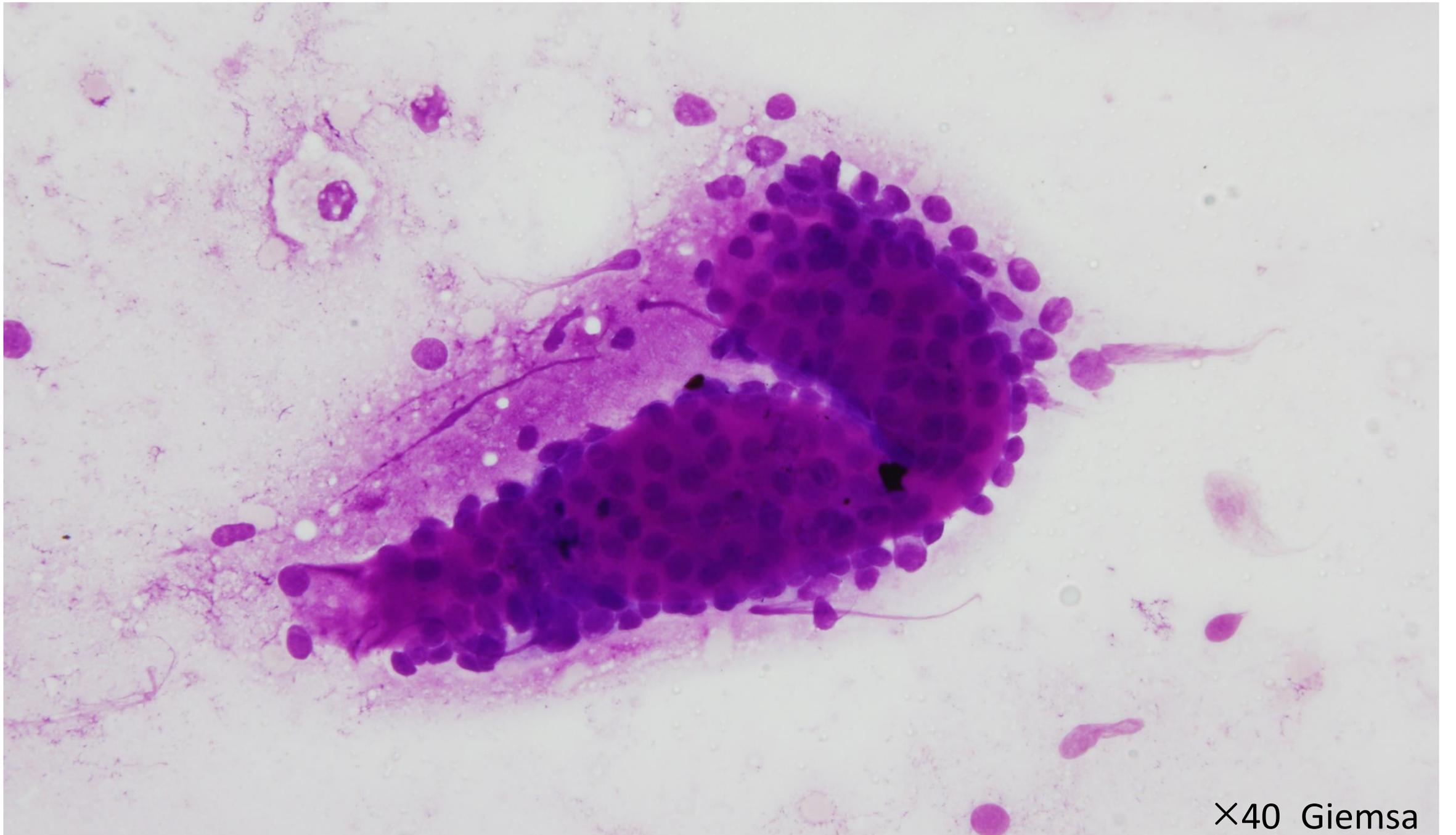
×40 Pap.



×40 Pap.



×10 Pap.



×40 Giemsa

症例9

第1選択：ミラノシステム診断区分

1. 不適正
2. 非腫瘍性
3. 意義不明な異型 (AUS)
4. 良性腫瘍
5. 良悪性不明な腫瘍 (SUMP)
6. 悪性疑い
7. 悪性

症例9

第2選択：推定組織型

1. 神經鞘腫
2. 多形腺腫
3. 基底細胞腺腫
4. 腺樣嚢胞癌
5. 多形腺腫由来癌